

決算説明資料

2021年3月期 第3四半期

株式会社ユビキタスAIコーポレーション

代表取締役社長 長谷川 聡

2021年2月12日

Index

- 第3四半期業績の概要
- セグメント及び製品分野別動向と取り組み
- トピックス

第3四半期業績の概要

第3四半期（累計期間）の概況

業 績

- コロナ禍の影響を受け売上高・営業利益ともに減少
- 連結売上高 : 1,240百万円（前年同期比 21.2%減）
- 連結営業損失 : 267百万円（前年同期 営業損失90百万円）

セグメント別概況

ソフトウェアプロダクト事業

高速起動は車載機器関連のロイヤルティ売上が減少、コネクティビティ&セキュリティは自社製品開発注力、受託開発をソフトウェアサービス事業へ移管したことで売上減

ソフトウェアディストリビューション事業

自動車関連売上がコロナ禍及び商材消失の影響で売上減、その他も全般的にコロナ禍の影響を受け売上減

ソフトウェアサービス事業

車載機器関連のコンテンツライセンスがコロナ禍の影響で売上減、顧客予算縮小による受託開発案件消失などの影響で売上減

連結損益計算書

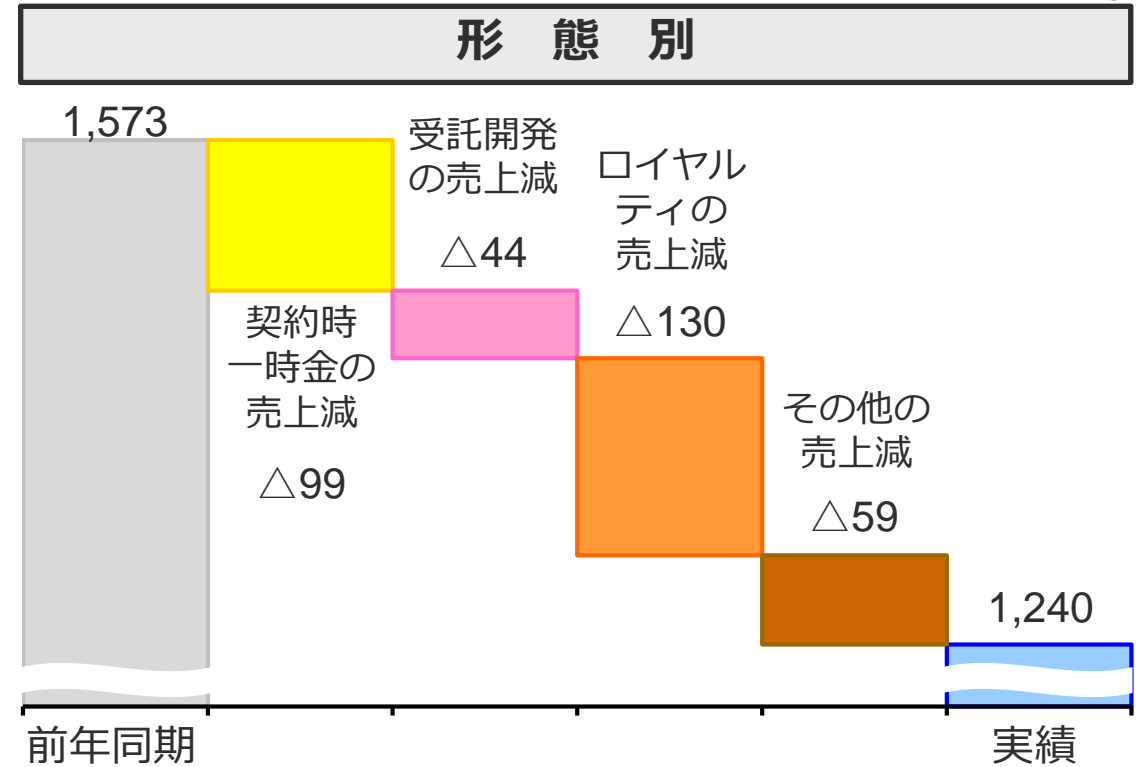
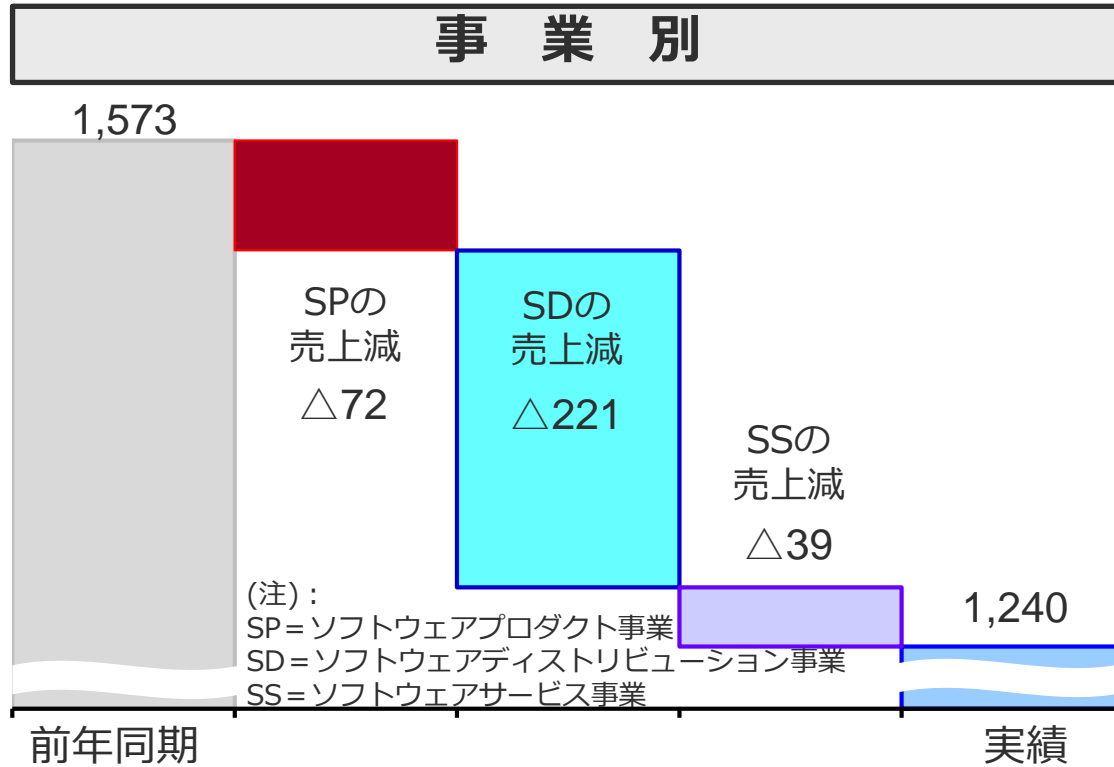
(単位：百万円)

	前年同期	2020/3期 (第3四半期)	増減
売上高	1,573	1,240	△333
売上原価	871	725	△146
売上総利益	702	515	△187
販管費	793	782	△10
営業利益	△90	△267	△176
営業外損益	4	3	△0
経常利益	△86	△263	△176
特別損益	-	-	-
法人税等	11	24	12
四半期純利益(※)	△98	△287	△189

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比：売上高

(単位：百万円)

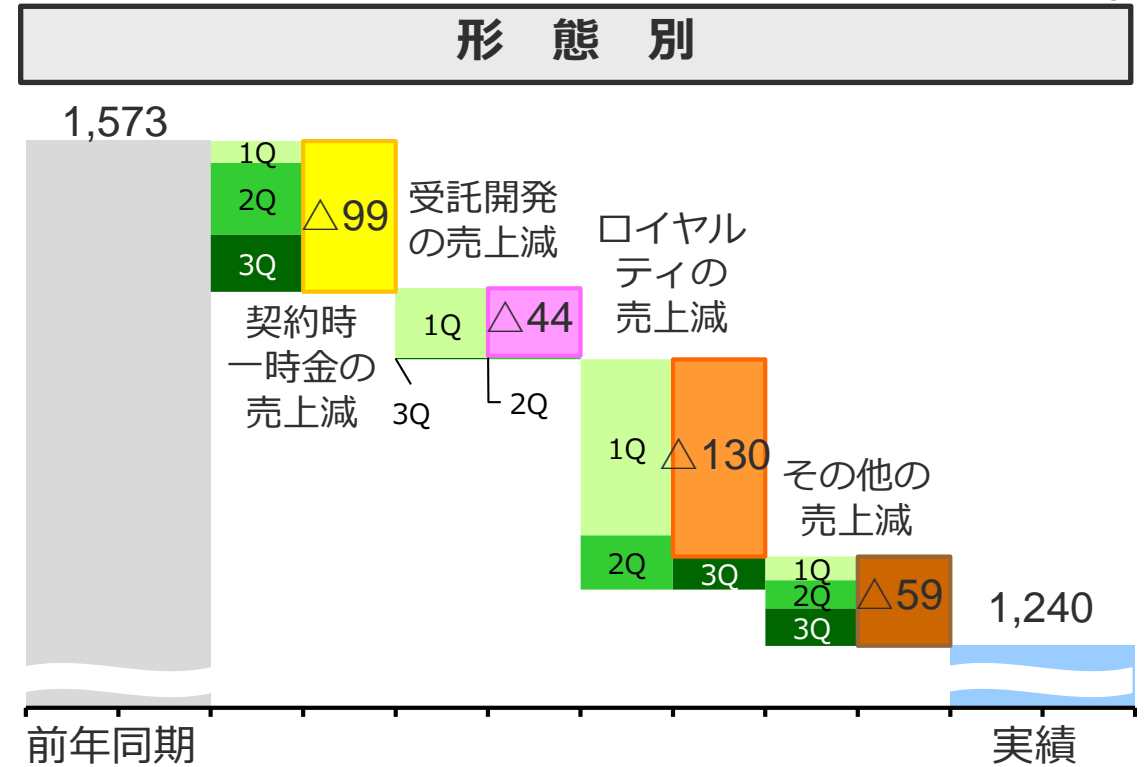
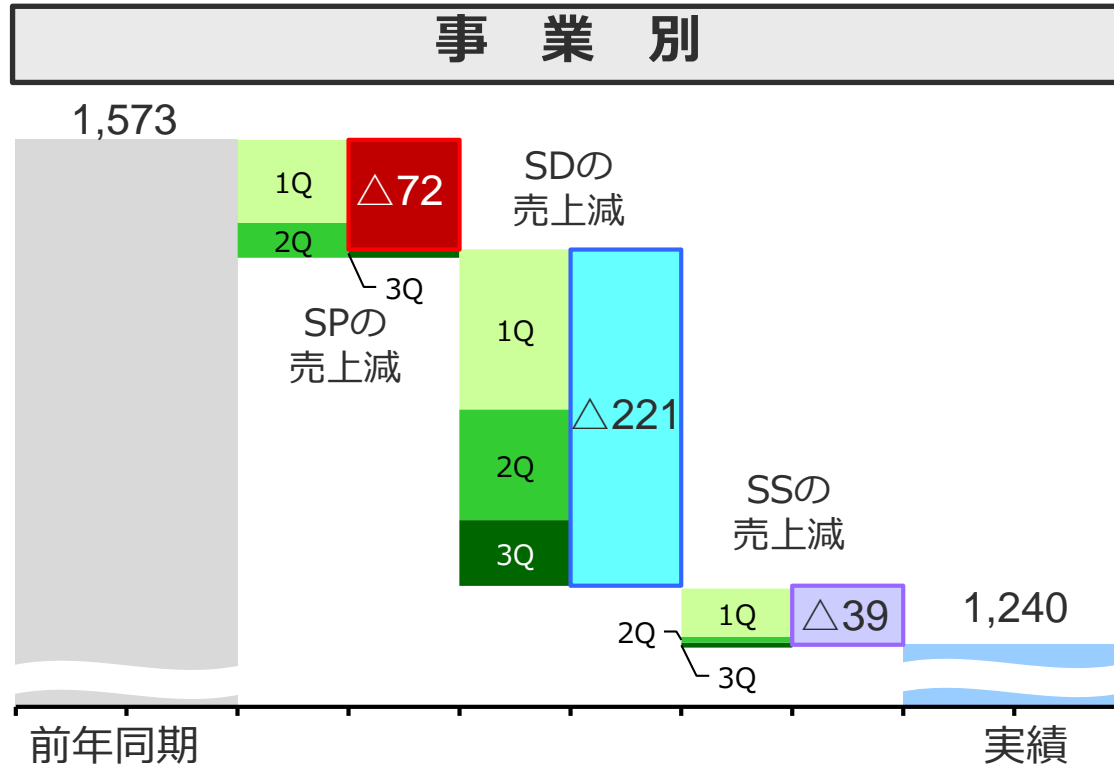


■ 前年同期比 売上高：減少

- SP事業： 全般的に売上減、高速起動は車載機器関連、コネクティビティ&セキュリティは受託開発減が大きく影響
- SD事業： 全般的に売上減、コロナ禍と商材消失による自動車関連売上減が大きく影響、その他売上もコロナ禍が影響
- SS事業： 全般的に売上減、コロナ禍の影響による車載機器関連のコンテンツライセンス、受託開発案件に影響

前年同期比：売上高（Q別）

(単位：百万円)

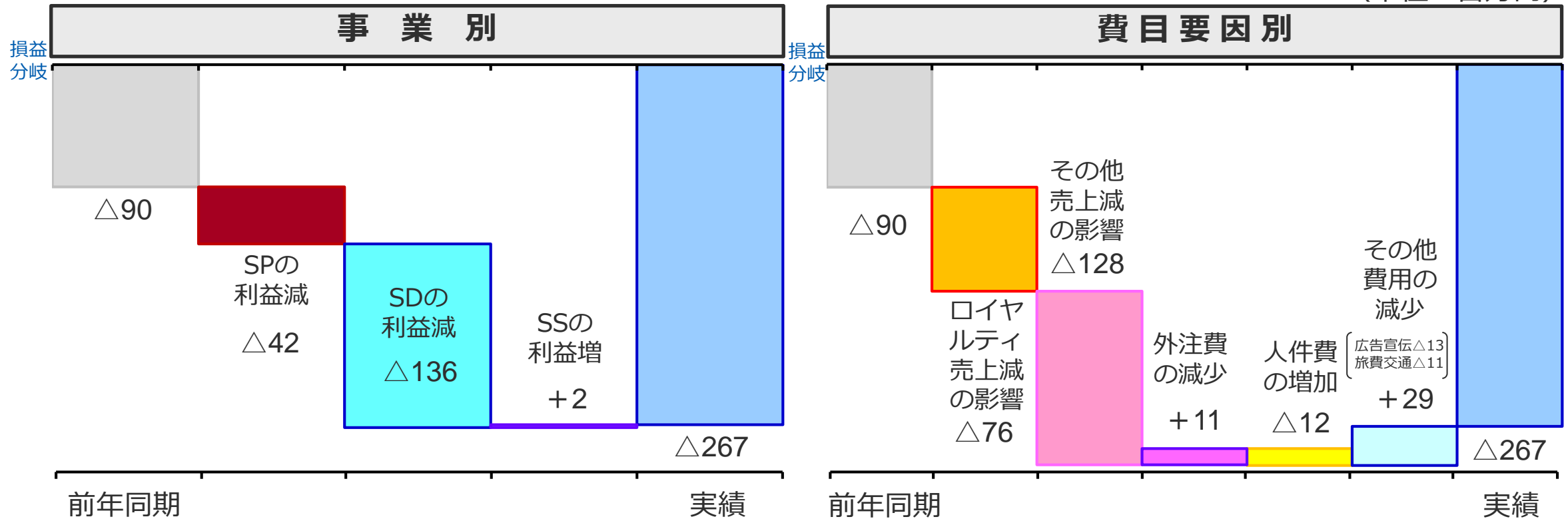


■ 前年同期比 売上高：減少

- SP事業： 3Qは、ロイヤルティ等の復調により増加となるが、1Q・2Qの減少の影響を受ける
- SD事業： 減少幅は少なくなるも、1Q・2Q・3Qと減少、契約時一時金、サポート売上（その他の売上）が減少
- SS事業： 2Qよりほぼ前年並みに回復、1Qの減少の影響を受ける

前年同期比：営業利益

(単位：百万円)

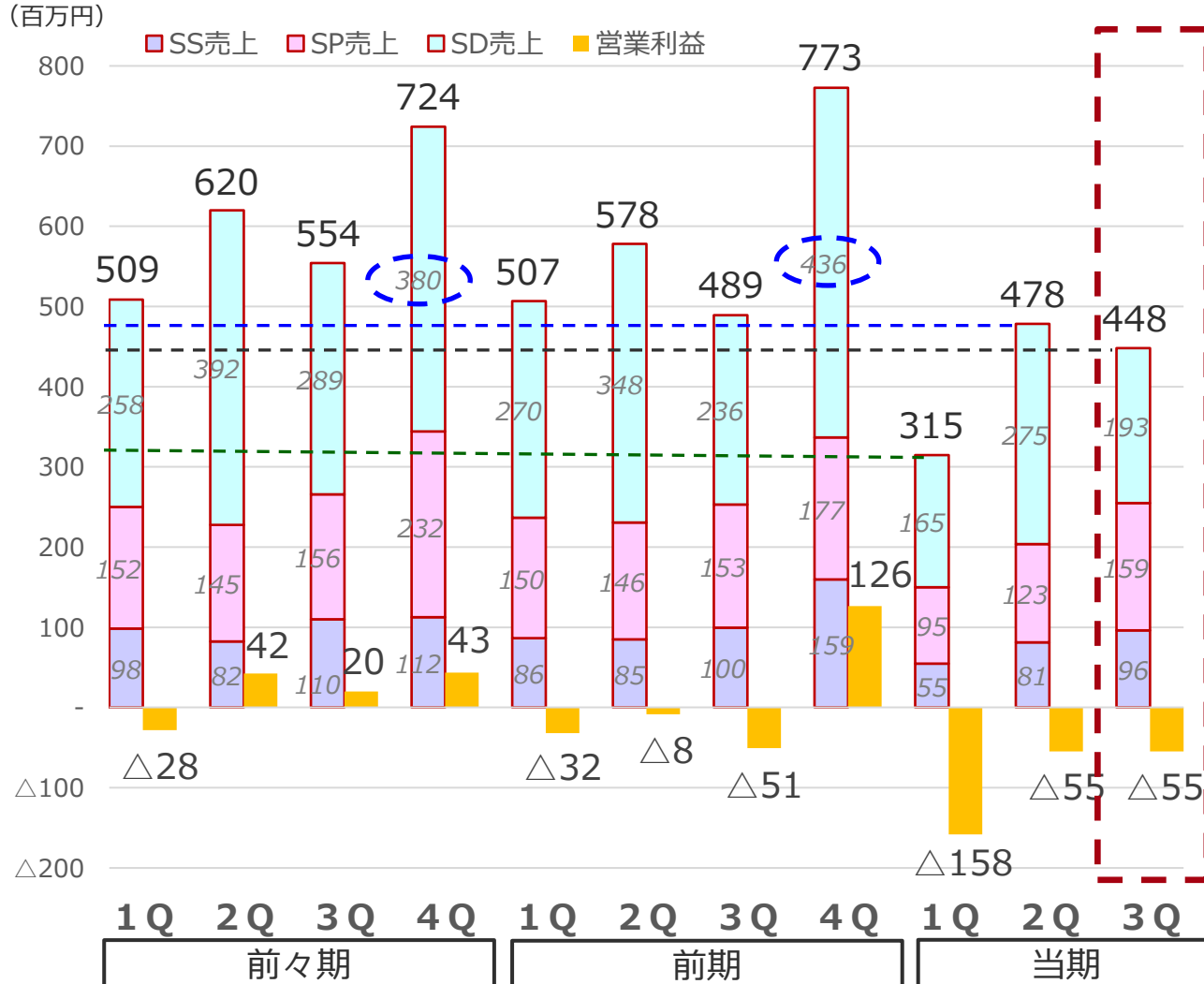


■ 前年同期比 営業利益：減少

- SP事業、SD事業、SS事業全体で売上減の影響により、営業利益が減少

コロナ禍の業績への影響

【参考】 四半期 連結業績推移



■ 第3四半期業績への影響

(車載機器関連、新規案件が大きく影響)

ー 車載機器関連

- 自動車販売台数（4-6月大幅減、7-9月回復、10-12月微増）に伴い、採用済み製品のロイヤルティは回復基調から増加傾向へ

ー 新規案件

- 顧客の案件消失・予算縮小などによる新規開発案件、研究開発の中止、先送りなど、新規案件は全般的に低調が続く

■ 通期の業績予想

ー 四半期毎の対前年売上は回復傾向

- 売上高前年同期比較において、第1四半期(△191百万円)、第2四半期(△99百万円)、第3四半期(△41百万円)と減少幅は縮小、売上は回復傾向

ー 第4四半期売上見込は未だ不透明

- 例年の第4四半期は、主にソフトウェアディストリビューション事業において、新規案件獲得等が増加する期間
- 2021年1月7日に再発令された緊急事態宣言の影響も懸念され、顧客の新規案件への動向が不透明
- 現時点においても、通期業績見込を合理的に見積もることは困難な状況が続く

連結貸借対照表（資産の部）

(単位：百万円)

	2020/3月末	2020/12月末	増減
現金・預金	934	969	35
受取手形・売掛金	740	372	△368
有価証券	800	800	-
棚卸資産	-	25	24
前払費用	59	42	△17
その他流動資産	27	58	31
流動資産	2,563	2,269	△294
のれん	316	158	△157
その他固定資産	397	439	41
固定資産	714	598	△115
資産合計	3,277	2,867	△410

連結貸借対照表（負債・純資産の部）

(単位：百万円)

	2020/3月末	2020/12月末	増減
買掛金	160	69	△90
未払金	38	60	22
前受金	91	67	△24
その他流動負債	92	14	△78
流動負債	382	212	△170
固定負債	82	80	△1
資本金	1,483	1,483	0
資本剰余金	1,453	1,453	0
利益剰余金	△159	△447	△287
その他純資産	35	84	49
純資産	2,812	2,574	△238
負債・純資産合計	3,277	2,867	△410

通期業績予想（連結）に対する進捗

(単位：百万円)

	通期 業績予想	第3四半期 実績	進捗率 (%)
売上高	2,362	1,240	52.5
営業利益	12	△267	—
経常利益	12	△263	—
純利益	△46	△287	—

セグメント及び 製品分野別動向と取り組み

前年同期比:セグメント及び製品分野別売上高

(単位:百万円)

セグメント	分野	前年同期 (連結)	2021/3期 第3四半期 (連結)	増減率
ソフトウェアプロダクト事業	コネクティビティ&セキュリティ	94	42	△55.3
	高 速 起 動	311	281	△9.6
	デ ー タ ベ ー ス	42	52	23.0
	小計	449	376	△16.1
ソフトウェアディストリビューション事業		853	632	△26.0
ソフトウェアサービス事業		270	231	△14.4
合計		1,573	1,240	△21.2

前年同期比:セグメント別売上及び利益

(単位:百万円)

		前年同期 (連結)	2021/3期 第3四半期 (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	449	376	△72
	セグメント利益	19	△22	△42
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	852	632	△220
	セグメント利益	※1 △70	※1 △206	△136
ソフトウェアサービス 事業	売上高	259	231	△28
	セグメント利益	※2 △40	※2 △37	2

※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 79百万円を含めております。

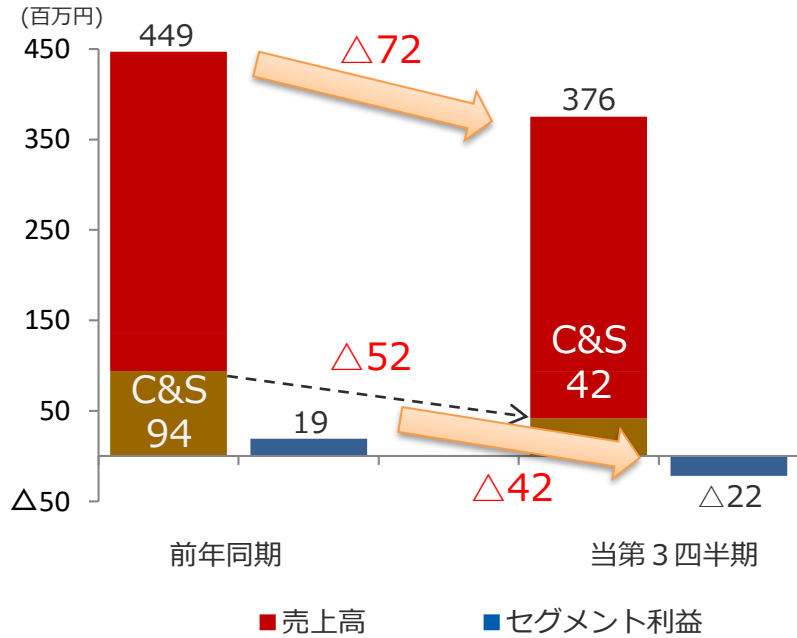
※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 77百万円を含めております。

前年同期比:セグメント別売上及びのれん償却前利益

(単位:百万円)

		前年同期 (連結)	2021/3期 第3四半期 (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	449	376	△72
	セグメント利益	19	△22	△42
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	852	632	△220
	セグメント利益	9	△126	△136
ソフトウェアサービス 事業	売上高	259	231	△28
	セグメント利益	37	39	2

ソフトウェアプロダクト事業 コネクティビティ & セキュリティ関連

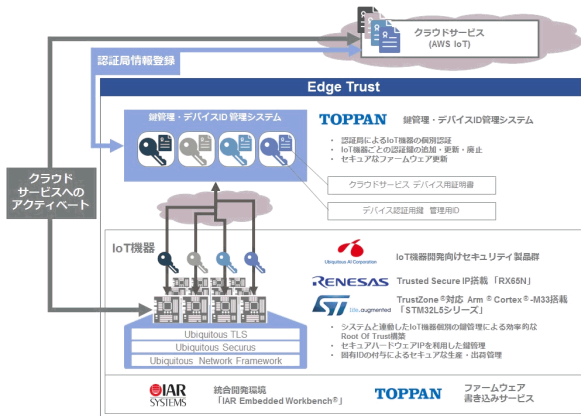


■ 当四半期概況

- 「Edge Trust」関連の半導体メーカーとの研究開発案件で売上を計上
- IoTセキュリティ関連の研究開発案件で売上を計上
- 車載関連機器の既存顧客からのロイヤルティ売上を計上
- デジタルイメージング関連の既存顧客からの受託開発売上を計上
- IIoTプラットフォームThingWorx®のクライアント機能に対応し、MCU上で動作可能なソフトウェアをPTCジャパン社と共同開発し、「Ubiquitous Network Framework ThingWorx Edge Package」として2021年2月1日（月）に提供開始することを発表

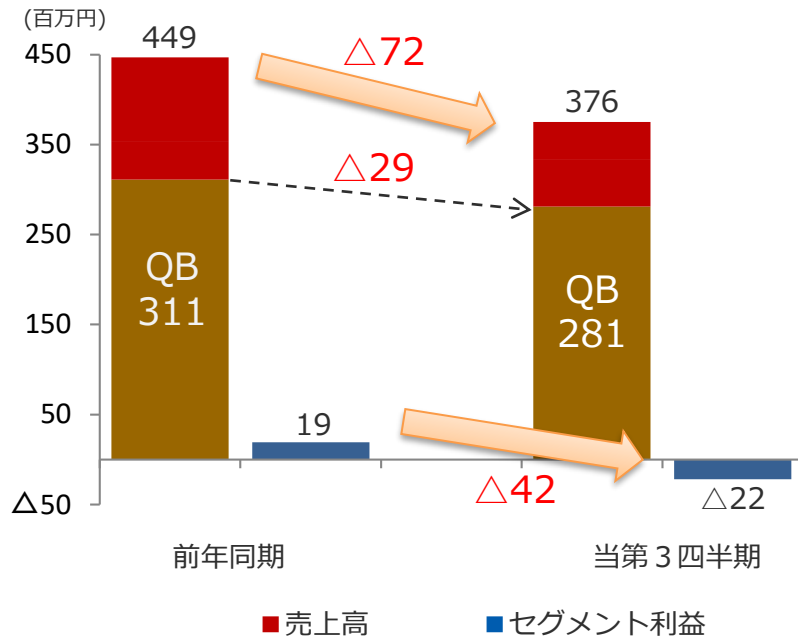
■ 取組方向性

- 「Edge Trust」を中心としたIoTセキュリティ分野での事業展開に注力、組込みからクラウドまで、セキュアなIoTサービスを実現するために必要な幅広い分野のパートナーとの連携を強化
- 車載、産業、IoT分野を中心としたセキュリティ関連製品の拡販活動



※グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、コネクティビティ & セキュリティ関連のみの売上です。

ソフトウェアプロダクト事業 高速起動関連



■ 当四半期概況

- 車載機器関連、海外民生機器の既存顧客からのロイヤルティ売上を計上
- カーナビ等車載向け機器を中心に複数社との間で大・中規模案件の研究開発が継続中

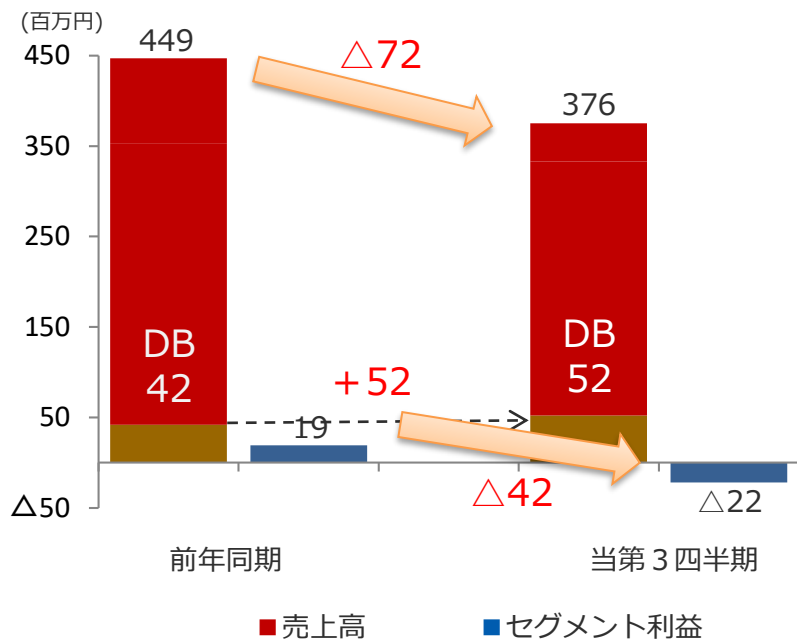
■ 取組方向性

- 海外市場向けの販売を強化
- 車載情報端末以外の車載機器向けの拡販を強化
- 電源断対応ファイルシステムや仮想化技術、セキュアブートなどの機能組み合わせなど付加価値の高いソリューション化、クロスセルを推進
- 次世代技術開発の継続



※グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、高速起動関連のみの売上です。

ソフトウェアプロダクト事業 データベース関連

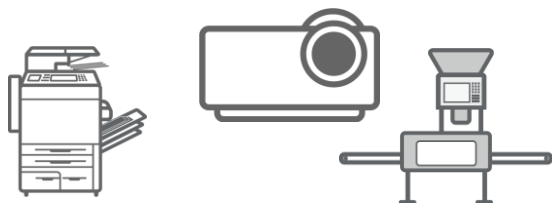


■ 当四半期概況

- 産業機器、車載機器の既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上

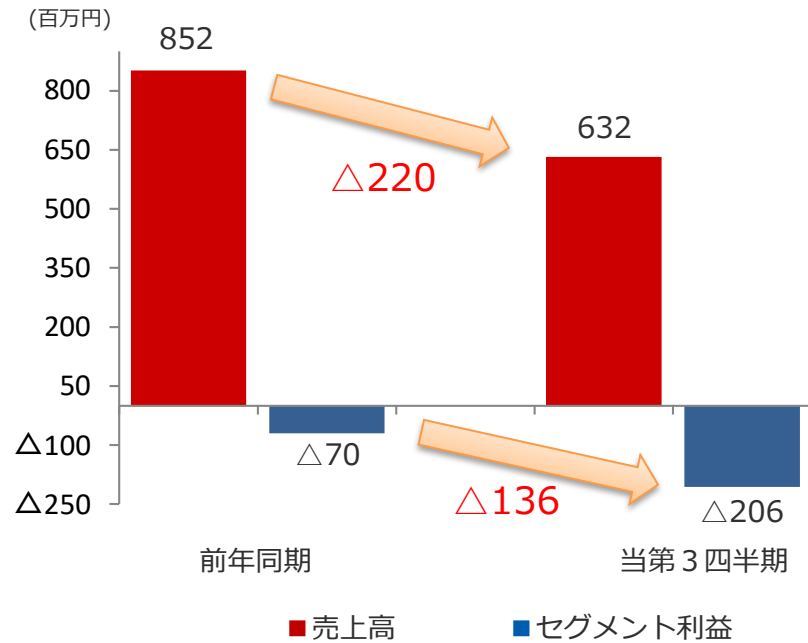
■ 取組方向性

- 既存顧客のサポートによる安定収益の確保
- 車載機器、OA機器、検査機器、産業機器などに向けた拡販



※グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、データベース関連のみの売上です。

ソフトウェアディストリビューション事業



■ 当四半期概況

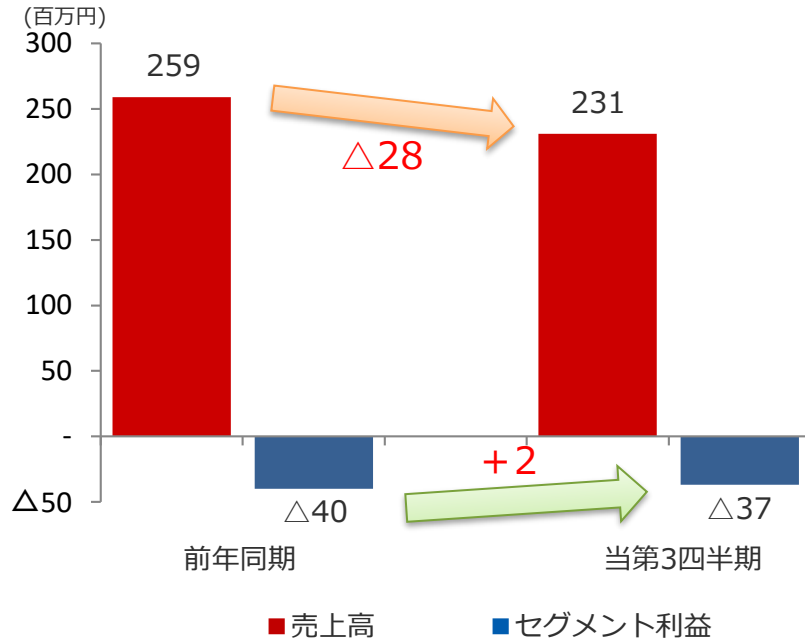
- BIOS製品：ノートブックPCの既存顧客から「Insyde H2O *1」のロイヤルティ売上等を計上
- ワイヤレス製品：車載機器等の既存顧客から「Blue SDK *2」のロイヤルティ売上等を計上
- 品質向上支援ツール製品：車載機器、医療機器等の既存顧客から「CodeSonar *3」のライセンス売上等を計上
- AIソリューション製品：車載機器の既存顧客から「CoDriver *4」の受託開発売上を、産業機器の新規顧客から「GenSynth *5」（ディープラーニングモデル最適化プラットフォーム）のライセンスを計上
- その他、多数の取扱い製品より、新規、既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上

■ 取組方向性

- コロナ禍による変化へのニーズに対応した製品・技術の発掘
- AI関連製品の製品取扱を強化（当四半期で2製品の新規取扱開始）
- 自動車関連のツール取扱強化として、エー・アンド・デイ社と業務提携、車載システムソフトウェア開発用 シミュレーターを共同開発開始、2021年4月発売を目指す
- 年間利用ライセンス契約により収益安定貢献の高いソフトウェア品質向上支援等のツール製品を重点的に販売促進



- *1 Insyde H2O: 「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ベースBIOS
- *2 BlueSDK: Bluetoothプロトコルスタック
- *3 CodeSonar: ソフトウェアの動作不具合、脆弱性をソースコードのコンパイル時に静的解析し、バグを検出するツール
- *4 CoDriver: ドライバーモニタリングシステム
- *5 GenSynth: ディープラーニングモデル最適化プラットフォーム



■ 当四半期概況

- 既存顧客からの各種受託開発売上を計上
- データコンテンツ「YOMI」に関する車載機器向けを中心としたライセンス使用料売上等を計上

■ 取組方向性

- 米Gracenote社との密な連携による既存収益の継続的な確保と、協業提案による新たな取り組み
- 既存顧客・パートナー案件に加え、グループの製品・顧客関連のエンジニアリングサービス案件を軸に、グループ全体での売上シナジー実現



YOMIデータの活用例：アーティスト名ソート

アーティスト表記	YOMI
さだまさし	サタマサシ
サザンオールスターズ	サザンオールスターズ
L'Arc-en-Ciel	ラルクアンシエル
松任谷由実	マツトウヤユミ

アーティスト表記でソート		YOMIでソート	
ソート順位	アーティスト表記	ソート順位	YOMI
1	L'Arc-en-Ciel	1	サザンオールスターズ
2	サザンオールスターズ	2	さだまさし
3	さだまさし	3	松任谷由実
4	松任谷由実	4	L'Arc-en-Ciel

トピックス

Eurosoft社と販売代理店契約を締結、ネイティブUEFIに準拠したハードウェア異常診断ツール「Pc-Check® UEFI」提供開始（12/11）

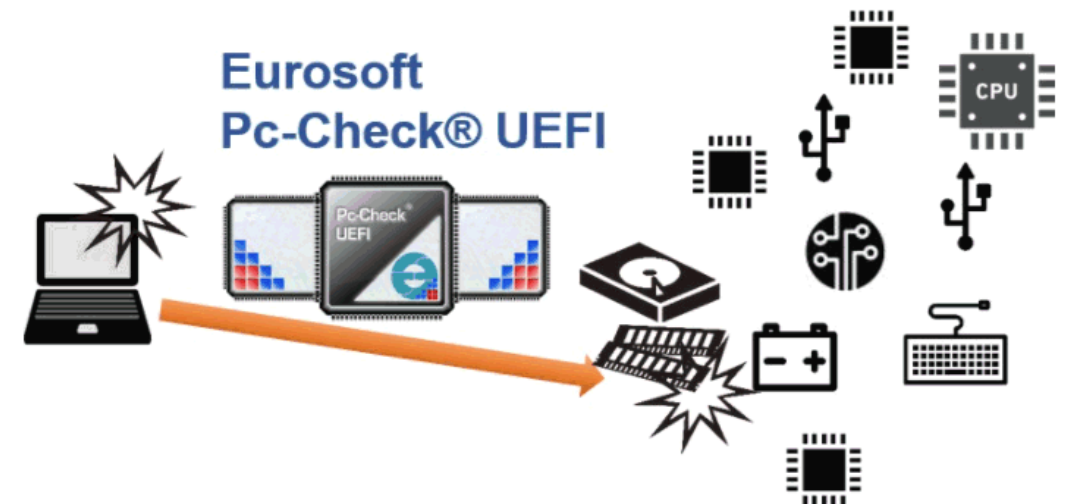
ハードウェアの診断ツールで20年以上の実績を持つEurosoft社による
OS環境に影響を受けない診断ソリューション

■ 提供開始の背景

- 製品に不具合が生じた場合、異常の仕分けを行うツールの重要性が見直されている
- 異常診断は、これまでもOSやDOS上で行われてきたが、BIOSはUEFIに進化した
- UEFIでは、OSに依存することなくUEFI環境で異常を診断することができる

■ 「Pc-Check® UEFI」の主な特長

- UEFIに準拠し軽量なのでBIOSのROMに組み込むことが可能
- 高速なハードウェア診断
- プリブートUEFIで動作
- セキュアブート環境下でも実行可能
- 様々なハードウェアの一括診断を実現



<「Pc-Check® UEFI」使用イメージ>

PTCジャパンと共同開発した「Ubiquitous Network Framework」の拡張パッケージ「Ubiquitous Network Framework ThingWorx Edge Package」提供開始 (2/1)

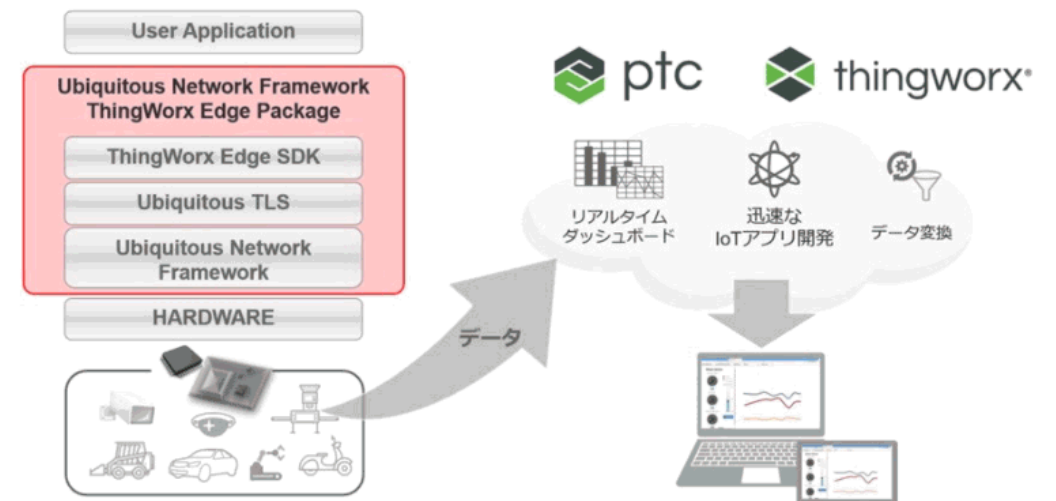
IIoT（産業分野向けIoT）プラットフォームThingWorx®のクライアント機能に対応し、MCU上で動作可能なソフトウェアをPTC社と共同開発

■ 開発の背景

PTC社が提供している「ThingWorx Edge SDK」は、LinuxとWindowsに最適化されており、ユーザーがMCUを利用する場合には、個別の開発や多大な時間と手間を要することが課題

■ 「Ubiquitous Network Framework ThingWorx Edge Package」の主な特長

- PTC社のThingWorx®に対応するIoT機器開発の期間を大幅に短縮
- MCUで利用可能な省リソース、高パフォーマンス
- TLSを使用したデバイス認証情報の保護によってセキュリティを確保



<ThingWorxとの接続イメージ>

Deeplite社と販売代理店契約を締結、DNNモデル自動最適化・圧縮ソフトウェア「Neutrino™」提供開始（1/13）

最適化工程を6か月から数日に短縮

DNNモデルをオンプレミス環境で自動最適化し、開発効率を改善

■ 提供開始の背景

- 機械学習やディープラーニングに関わるAI開発や研究は、日々進んでいる
- モデルの最適化には煩雑な試行錯誤、膨大な時間と人的コスト、コンピューティングリソースが必要
- IoT/エッジ機器向けのAIアプリケーション開発では、精度を保ったままのDNNモデルの最適化や低消費電力など、さらに多くの要求が発生

■ 「Neutrino™」の主な特長

- トレーニング済みのDNNモデルとデータセットを設定するだけで、AIエンジンが自動的に精度（正解率）を保ったまま最適化を実行するため、開発コストの大幅な削減を実現
- オンプレミス環境用のため、自社内で使用が可能



<「Neutrino™」使用イメージ>

Appendix

2021年3月期 第3四半期 開示一覧

発表日		プレスリリース
第3四半期	11月5日	■ ユビキタスAIコーポレーション、先端SAST(静的アプリケーションセキュリティテスト)ツール「ThunderScan®」を11月5日に提供開始
	11月5日	■ ユビキタスAIコーポレーション、RISC-V対応した商用リアルタイムOSの最新版を11月6日(金)に販売開始 ～高速動作・省メモリ・省電力の商用RTOSで、組み込み機器の高性能化、低価格化を実現～
	11月10日	■ ユビキタスAIコーポレーション、AI特許技術でIoT/M2Mデータ伝送量を70-90%削減するIoTデータ圧縮・セキュア通信AIソリューション「AtomBeam」を11月10日に提供開始
	12月11日	■ ユビキタスAIコーポレーションがEurosoft社と販売代理店契約を締結、ネイティブUEFIに準拠したハードウェア異常診断ツール「Pc-Check® UEFI」を12月11日(金)に販売開始
	12月24日	■ MCU上でIIoTプラットフォームThingWorxのクライアント機能を実現するエッジ機器向けソフトウェアパッケージを2月1日(月)に提供開始 ～PTCジャパンと共同開発、「Ubiquitous Network Framework」の拡張パッケージとして提供～
第4四半期 (参考)	1月13日	■ ユビキタスAIコーポレーションとDeeplite社が販売代理店契約を締結、DNNモデル自動最適化・圧縮ソフトウェア「Neutrino™」を1月13日(水)に提供開始 ～最適化工程を6か月から数日に短縮し、組み込み機器向けAIアプリケーションを実現～

Connecting the Future



Ubiquitous AI Corporation